

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年11月25日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 二葉
所在地	東京都港区高輪3丁目19番15号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 鈴木 英明
担当者連絡先	電話：03(3473)8257 (金村)
	メール：akihito.kanemura@ftb.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.ftb.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は、大正13年に横浜で船を活用した物資輸送を担う会社として創業し、その後一般港湾運送事業、通関業、冷蔵倉庫業、その他関連事業をベースに温度管理を必要とする輸入貨物を中心に、陸揚げから配送までの広い分野で港湾における日本の「食」を支える事業、サービスを提供する会社として現在に至るまで展開しています。</p>
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	業務の効率化、IT活用等により現場も含めた各事業本部毎にペーパーレス化を進め、排出紙文書を削減する	コピー用紙年間使用量 【現状】3,057箱(15,285千枚相当) 【目標】2,139箱(10,695千枚相当)
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上により時間外労働時間を短縮する	月平均時間外労働時間 【現状】34時間 【目標】24時間
✓環境 □社会 □経済	LED化・省エネ設備導入等により冷蔵倉庫および本社ビルそれぞれにおいて目標を設定し、電気使用量を削減する	冷蔵庫部門における目標 庫腹トン数当たり電気使用量 【現状】年間128,700KWh/t 【目標】年間103,000KWh/t 本社ビルにおける目標 年間電気使用量 【現状】年間1,054,307KWh 【目標】年間843,445KWh

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメント相談窓口を設置し社内に周知している ・eラーニングを導入し、社員へのハラスメント教育を整備 ・企業行動憲章に明示し社内に周知している ・人事研修の内容にハラスメント教育を取り入れている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・管理部署(人事部)および各部署にて月次の管理を行い、相互牽制を働かせることで、長時間労働を防止すると共に従業員の労働環境の維持をはかっている ・DX推進やRPA導入を図ることにより業務の効率化・簡素化をはかり、時間外労働削減をはかっている ・トラック予約システム(hacobu)の活用により効率化をはかっている									8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・社内にコロナ対策委員会立上げ、情報および対応の集約を図ることで感染防止対策をはかっている ・グループ会社含めたワクチン職域接種対応をすることで感染防止をはかっている ・抗原検査キットを現場に配布し、職場経由のクラスター感染防止対策を講じている			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・相談窓口の設置し社内へも周知している ・産業医との連携を常に取り、発生時のケアに注力することで従業員の健康管理に努めている ・毎年のメンタルヘルス調査の実施により継続して実態把握に努めている			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・小学校3年終了まで育児短時間勤務制度を適用することにより子育てし易い環境の整備をしている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職務や役割に応じた外部研修受講に取り組むことで従業員教育をはかっている ・資格取得者への資格手当支給制度を設けている ・資格試験合格者に通信教育受講費用負担する等能力向上機会の創出をはかっている				4	5.5			8	9								

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5				8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・グループ会社含めたワクチン職域接種等、従業員の労働環境維持に配慮した取組みをしている			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・DX推進やRPA導入による業務の標準化・負担削減の他、請求書PDF化や帳票類の電子保存等を行い、紙の削減に取り組んでいる ・廃棄物分別管理により再資源化、再利用化の推進に取り組んでいる ・グループ会社含め回収プラスチック製品の資源化および再資源化した製品の優先利用を進めている										11.6	12.4 12.5		14.1				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・本社ビル含めてLED照明化の促進をはかっている ・機器更新やリニューアル時には省エネに資する機器、設備の導入をすることでエネルギー利用効率化をはかっている ・HV車、電気自動車導入により化石由来エネルギー使用の削減をはかっている							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・HV車、電気自動車導入により化石由来エネルギー使用の削減、低炭素化促進をはかっている ・CONPAS&トラック予約システム(hacobu)の活用等でCO2削減に取り組んでいる							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6							15				
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9		6	7					12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・地球温暖化対策実施状況報告書を毎年横浜市に提出しHP上でも開示している											12.6						

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 東京都港区高輪3丁目19番15号

名称： 株式会社 二葉

代表者： 代表取締役社長 鈴木 英明

登録年月日： 令和4年12月23日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	業務の効率化、IT活用等により現場も含めた各事業本部毎にペーパーレス化を進め、排出紙文書を削減する	コピー用紙年間使用量 【現状】3,057箱 (15,285千枚相当) 【目標】2,139箱 (10,695千枚相当)	コピー用紙年間使用量 【当初】3,057箱 【R5】2,819箱 ・通関業務を順次システム化
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上により時間外労働時間を短縮する	月平均時間外労働時間 【現状】34時間 【目標】24時間	月平均時間外労働時間 【当初】34.0時間 【R5】33.8時間 ・トラック予約システム順次導入
✓環境 □社会 □経済	LED化・省エネ設備導入等により冷蔵倉庫および本社ビルそれぞれにおいて目標を設定し、電気使用量を削減する	冷蔵庫部門における目標 庫腹トン数当たり電気使用量 【現状】年間128,700KWh/t 【目標】年間103,000KWh/t 本社ビルにおける目標 年間電気使用量 【現状】年間1,054,307KWh 【目標】年間843,445KWh	冷蔵庫部門における庫腹トン数当たり電気使用量 【当初】年間128,700KWh/t 【R5】年間118,850KWh/t 本社ビル年間電気使用量 【当初】年間1,054,307KWh/t 【R5】年間929,348KWh/t ・LED照明順次導入 ・本社空調機器省エネ化